SURE 静岡大学学術リポジトリ
Shizuoka University REpository

静岡県GEO DATA(5)：地学散歩(84)

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2018-03-05 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 生形, 貴男 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.14945/00024712

静岡県 GEO DATA（5）

地学散歩（84）

「静岡地学」100～103号では，創立40周年記念事業による「静岡県 GEO DATA」のうち，中部支部より21件（C001～C021），東部支部より13件（E001～E013），西部支部より11件（W001～W011）の計45件を掲載した．100号でも予告した通り，その他の GEO DATA については，今後「地学散歩」で随時公表してゆく予定である．本104号では，中部支部から C022 瀬戸川層中の漣痕（リップルマーク）を，西部支部から W012 久根鉱山跡掲載する．

「静岡地学」 本部編集委員　生形貴男

C022　瀬戸川層群中の漣痕（リップルマーク）（静岡市葵区油山）

静岡市葵区油山にある採石場には瀬戸川層群の砂岩頁岩互層や黒色頁岩層が露出する．採石場の最奥部，黒色頁岩層の表面に漣痕（リップルマーク）を見つけることができる．

海底に堆積した砂や泥は未固結のため，水流によって侵食堆積が繰り返され波状の微地形を作り出す．このようにして作られたものを漣痕（リップルマーク）と呼んでいる．この露頭では見かけ上，写真左上から右下にかけての流れが読み取れる．静岡市近郊では，見つけることが少なくなった貴重な地学現象である．

なお，採石場に入るには許可が必要である．

（松本仁美）

国土地理院　1：25,000　牛妻

W012　久根鉱山跡

国土地理院　1：25,000 地形図　佐久間

久根鉱山へは浜松市の市街地から国道 152 号線を北上し，佐久間町大井の大井橋を渡る．西渡の家並みを過ぎてまもなく，左側の眼下に久根鉱山跡がある．

久根鉱山は江戸時代享保年間に開坑されたと言われ，長い歴史を持っていた．明治 32 年には古川機械金属株式会社が買収した．鉄道が開通するまでは船を使って鉱石を運搬し，天竜川 60 km を往復していた．廃坑になってからも鉱山の坑道跡からは酸性の水が流れ出し，石灰で中和してから天竜川に放流している．水質管理のために事務所が設置され，今なお数名の方が働いている．

久根の鉱床は，別子銅山（愛媛県）や日立鉱山（茨城県）と同じ層状含銅硫化鉄鉱床でキースラーガーとも呼ばれ，三波川帯の変成岩に層状ないしレンズ状に挟まれている．このタイプの鉱床からは黄銅鉱・磁硫鉄鉱・黄鉄鉱・閃亜鉛鉱などが採掘される．成因は，海底で噴出する熱水が鉱床を形成し，熱水鉱床がさらに変成作用を受けたものとされる．　（写真：今村守孝　本文：加藤国雄）